

Firewall Services Module 巧妙に細工された ICMP メッセージ脆弱性

High

アドバイザーID : cisco-sa-20090819-fwsm

初公開日 : 2009-08-19 16:00

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [7.8](#)

回避策 : [Yes](#)

Cisco バグ ID :

[CVE-2009-0638](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

のための Cisco Firewall サービス モジュール (FWSM) で Catalyst 6500 スイッチおよび Cisco 7600 シリーズ ルータ 存在 する脆弱性。複数の、巧妙に細工された ICMP メッセージを処理している間脆弱性により FWSM はトラフィックを転送することを止めます、引き起こされるかもしれません。

この脆弱性の計画的な不正利用の既知 例がありません。ただし、Cisco はこの脆弱性を無意識に引き起こすようであるデータ ストリームを観察しました。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。

このアドバイザーは [819-fwsm](#) で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

FWSM ソフトウェアのすべての非固定 2.x、3.x および 4.x バージョンはこの脆弱性から影響を受けます。

動作している FWSM ソフトウェアのバージョンを判別するために、どんなモジュールおよびサブモジュールがシステムにインストールされているか識別するために Cisco IOSソフトウェアまたは Cisco Catalystオペレーティング システム システム・ソフトウェアからの `show module` Command Line Interface (CLI) コマンドを発行して下さい。

次の例はスロット 4. にインストールされる FWSM (WS-SVC-FWM-1) のシステムを示したものです。

```
switch#show module
Mod Ports Card Type Model Serial No.
-----
1 48 SFM-capable 48 port 10/100/1000mb RJ45 WS-X6548-GE-TX SAxxxxxxxxxx
4 6 Firewall Module WS-SVC-FWM-1 SAxxxxxxxxxx
5 2 Supervisor Engine 720 (Active) WS-SUP720-BASE SAxxxxxxxxxx
6 2 Supervisor Engine 720 (Hot) WS-SUP720-BASE SAxxxxxxxxxx
```

正しいスロットの場所を確認した後、**show module <slot number>** コマンドを発行して、実行されているソフトウェアのバージョンを確認します。

```
switch#show module 4
Mod Ports Card Type Model Serial No.
-----
4 6 Firewall Module WS-SVC-FWM-1 SAxxxxxxxxxx

Mod MAC addresses Hw Fw Sw Status
-----
4 0003.e4xx.xxxx to 0003.e4xx.xxxx 3.0 7.2(1) 3.2(3) Ok
```

前述の例は FWSM が「Sw」の下でカラムによって示されるようにソフトウェアバージョン 3.2(3) を実行していることを示します。

注：Cisco IOSソフトウェアの最近のバージョンは **show module** コマンドからの出力で各モジュールのソフトウェアバージョンを示します; 従って、**show module <slot number>** コマンドを実行することは必要ではありません。

1 およびスイッチ 2. を切り替えるために属する 2 つの物理的な Cisco Catalyst 6500 シリーズスイッチが単一論理的なバーチャルスイッチとして動作するように仮想な切り換えシステム (VSS) が使用される場合 **show module** スイッチはすべてのコマンドすべての FWSMs のソフトウェアバージョンを表示することができます。このコマンドからの出力は **show module <slot number>** からの出力に類似したですが、ために VSS の各スイッチ モジュールのためのモジュール情報が含まれて下さい。

また、バージョン情報は次の例に示すように FWSM から **show version** コマンドによる直接、得ることができます。

```
FWSM#show version
FWSM Firewall Version 3.2(3)
```

Cisco Adaptive Security Device Manager (ASDM) を使用してデバイスを管理している場合は、ログイン ウィンドウの表、または ASDM ウィンドウの左上にソフトウェアのバージョンが表示されます。バージョンの表記は次の例のようになります。

```
FWSM#show version
FWSM Firewall Version 3.2(3)
```

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

ファイアウォールサービスを、Cisco IOSソフトウェアを含んで、Cisco ASA 5500 シリーズ適

応型セキュリティ アプライアンスおよび Cisco PIX セキュリティ アプライアンス モデル提供
するその他のCisco製品はこの脆弱性から、影響を受けません。

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

| | | |
|-----------|----------------|----------|
| リビジョン 1.0 | 2009-August-19 | 最初の一般公開。 |
|-----------|----------------|----------|

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。